



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年2月8日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7923

URL <http://www.toin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山科 統

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 埴淵 正伯 TEL (04) 7131-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	8,382	(2.7)	△38	(—)	△62	(—)	△44	(—)
19年3月期第3四半期	8,160	(8.3)	90	(—)	66	(—)	79	(—)
19年3月期	10,742	—	77	—	38	—	56	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△8 05	— —
19年3月期第3四半期	— —	— —
19年3月期	10 24	10 17

(注) 1. 営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成19年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第3四半期は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	15,391	9,051	58.8	1,624 16
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	15,788	9,284	58.8	1,666 93

(注) 平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第3四半期は記載しておりません。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	555	△334	△100	1,982
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	692	△1,710	162	1,861

(注) 平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第3四半期は記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
19年3月期第3四半期	— —
20年3月期第3四半期	— —

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

平成 19 年 11 月 21 日に公表しました業績予想の見直しは行なっておりません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期につきましては、包装資材事業は、企画提案型の営業活動を積極的に展開し、生産効率向上のための各種施策を推進してまいりましたが、樹脂パッケージの売上が減少したことなどにより売上が低迷し、また前年度までの原材料等の値上げに対する適正価格への改定が徐々に浸透してきたものの当第 3 四半期における原材料をはじめとする諸材料等のさらなる値上げに対する適正価格への改定が遅れていること、収益性の低い部門の立て直しのための改善計画に一部進展は見られるものの計画どおりには進まなかったことなどにより、利益は低調に推移いたしました。精密塗工事業は、品質管理体制の充実・整備により高品質製品の安定供給を徹底し、また新規客先及び新規分野の需要先を積極的に開拓したことなどにより、売上・利益ともに拡大基調を回復することができました。その他事業は、販促品の商品販売および野田事業所の受託包装が収益計画を達成できず、売上・利益ともに低調に推移いたしました。

この結果、当第 3 四半期までの業績は、売上高 8,382 百万円 (前年同期比 2.7%増)、営業利益△38 百万円 (前年同期比 129 百万円減)、経常利益△62 百万円 (前年同期比 129 百万円減)、四半期純利益△44 百万円 (前年同期比 124 百万円減) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の資産につきましては、前期末に比べ 396 百万円減少し、15,391 百万円となりました。これは主に、現金及び預金 121 百万円や受取手形及び売掛金 140 百万円の増加等がありましたが、たな卸資産が 243 百万円減少したことと、減価償却の進行等により固定資産が 522 百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ 163 百万円減少し、6,339 百万円となりました。これは主に、未払金及び賞与引当金の減少等により流動負債のその他が 70 百万円減少したことと、繰延税金負債及び退職給付引当金の減少等により固定負債のその他が 127 百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ 232 百万円減少し、9,051 百万円となりました。これは主に、剰余金の配当及び四半期純損失等により利益剰余金が 170 百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が 62 百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ 121 百万円増加し、1,982 百万円となりました。

当第 3 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、555 百万円の収入となりました。これは主に、減価償却費 652 百万円の発生とたな卸資産の減少 243 百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、334 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産取得による支出 333 百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、100 百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払 121 百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、確定次第、適時適切に開示いたします。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表等の作成に際しては、中間財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な方法を採用しております。

- ・ たな卸資産について、実地たな卸を省略しております。
- ・ その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な手続きを採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理方法の変更

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ 7,385 千円増加しております。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の 5%に到達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の 5%相当額と備忘価額との差額を 5 年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これにより営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ 41,371 千円増加しております。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円未満切捨て、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	—	1,482,715	—	—	1,361,525
2. 受取手形及び売掛金	—	2,718,994	—	—	2,578,858
3. 有価証券	—	500,000	—	—	—
4. たな卸資産	—	1,086,145	—	—	1,329,795
5. その他	—	653,507	—	—	1,044,830
流動資産合計	—	6,441,363	—	—	6,315,010
II 固定資産					
1. 有形固定資産	—	6,971,219	—	—	7,346,376
2. 無形固定資産	—	33,505	—	—	39,190
3. 投資その他の資産	—	1,945,769	—	—	2,087,583
固定資産合計	—	8,950,495	—	—	9,473,149
資産合計	—	15,391,858	—	—	15,788,159
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	—	2,524,572	—	—	2,526,102
2. 短期借入金	—	350,000	—	—	350,000
3. 1年内返済予定 長期借入金	—	507,300	—	—	489,000
4. その他	—	525,962	—	—	596,051
流動負債合計	—	3,907,834	—	—	3,961,153
II 固定負債					
1. 長期借入金	—	1,324,600	—	—	1,307,900
2. その他	—	1,107,526	—	—	1,234,871
固定負債合計	—	2,432,126	—	—	2,542,771
負債合計	—	6,339,960	—	—	6,503,925
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	2,244,500	—	—	2,244,500
2. 資本剰余金	—	2,901,821	—	—	2,901,800
3. 利益剰余金	—	4,068,655	—	—	4,238,859
4. 自己株式	—	△456,347	—	—	△457,238
株主資本合計	—	8,758,629	—	—	8,927,921
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価差額金	—	303,546	—	—	365,843
2. 繰延ヘッジ損益	—	△10,278	—	—	△9,530
評価・換算差額等合計	—	293,268	—	—	356,313
純資産合計	—	9,051,898	—	—	9,284,234
負債純資産合計	—	15,391,858	—	—	15,788,159

(注) 平成20年3月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び増減は記載しておりません。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨て、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	—	8,382,039	—	—	10,742,656
II 売上原価	—	7,380,666	—	—	9,271,693
売上総利益	—	1,001,373	—	—	1,470,962
III 販売費及び一般管理費	—	1,040,162	—	—	1,393,329
営業利益又は 営業損失 (△)	—	△38,788	—	—	77,633
IV 営業外収益	—	29,983	—	—	30,487
V 営業外費用	—	53,730	—	—	69,646
経常利益又は 経常損失 (△)	—	△62,536	—	—	38,474
VI 特別利益	—	2,280	—	—	3,855
VII 特別損失	—	7,609	—	—	23,482
税引前四半期 (当期) 純利益又は税引前四 半期純損失 (△)	—	△67,865	—	—	18,847
税金費用	—	△23,009	—	—	△38,105
四半期 (当期) 純利益 又は四半期純損失 (△)	—	△44,856	—	—	56,952

(注) 平成 20 年 3 月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び増減は記載しておりません。

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨て)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期 (当期) 純利益又は 税引前四半期純損失 (△)	—	△67,865	18,847
減価償却費	—	652,324	946,674
売上債権の増減額	—	△140,136	51,214
たな卸資産の増減額	—	243,649	△204,379
その他	—	△91,482	△60,926
小 計	—	596,490	751,430
法人税等の支払額	—	△8,271	△8,303
その他	—	△32,828	△50,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	555,389	692,475
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	—	△333,726	△1,645,885
その他	—	△441	△64,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△334,168	△1,710,627
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の増減額	—	35,000	257,800
配当金の支払額	—	△121,757	△82,976
その他	—	△13,274	△12,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△100,031	162,250
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	—	121,189	△855,900
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	1,861,525	2,717,426
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	—	1,982,715	1,861,525

(注) 平成 20 年 3 月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期は記載しておりません。

(4) 販売の状況

販売実績

(単位：千円未満切捨て)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)		当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)		比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
		%		%		%
包 装 資 材	6,828,345	83.7	6,642,053	79.2	△186,292	△2.7
精 密 塗 工	754,423	9.2	1,248,587	14.9	494,163	65.5
そ の 他	577,811	7.1	491,399	5.9	△86,411	△15.0
合 計	8,160,579	100.0	8,382,039	100.0	221,460	2.7

<事業区分の変更>

事業区分について、平成 19 年 3 月期までは「包装資材事業」「精密機器関連事業」の 2 区分で表示しておりましたが、事業内容が多様化するとともに精密塗工事業の重要性が増してきたことに伴い、事業区分別情報の有用性を高めるため、平成 20 年 3 月期から「包装資材事業」「精密塗工事業」「その他事業」の 3 区分に変更しております。

なお、上記販売実績の前年同四半期は、当該変更後の区分によるものであります。